

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブロッサムジュニア 大野教室 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数) 0名
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室内の活動スペースが広く、様々なプログラムを取り入れることができる。	集団療育室、個別指導室(2部屋)、多目的室を設けており、十分な広さがあります。利用者の特性に合わせた療育内容によって、部屋を使い分けることができます。	広いスペースを生かして運動療育を積極的に取り入れていく。高学年、低学年、特特別等で部屋を区切り、より適切な療育を提供していく。
2	充実した活動支援プログラムの構築ができている。	5領域を踏まえて、集団療育指導案、個別療育指導案を準備している。 経験豊富なスタッフの強みを活かした支援が行えています。	小学生から高校生まで年齢幅、発達段階の差が大きいため、活動内容やグループ分けの工夫を行っていく。
3	ご家族へのサポート	ご家族とHugで、お子さまのその日の支援内容や様子、写真を提供し、きめ細やかに連絡調整をしたり、お子さまの相談があればご家族と寄り添い、同じ方向性に導き出せるようにしている。	モニタリング面談・アセスメント面談の他にも家族支援として、面談等の時間を充実させ、共通理解を深めていく。 園や自宅⇔事業所の送迎サービスを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者がいない	開所して間もないこともあり、事業所の認知がされていない。	SNSを利用し宣伝活動を行う。 市の1歳半検診や3歳児検診にて事業所のパンフレットを配布してもらう。
2			
3			